

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	工業英語	担当教員	中野 廣幸 (非常勤)		
学年学科	4 年 機械工学科	前期	必修	1 単位	
学習・教育目標	(C-2) 100%		JABEE 基準 1 (1):(a)(f)		
授業の目標と期待される効果： 産業界において使用されるコミュニケーションツールとしての英語を使いこなすための基礎を学習し、工業英検 3 級程度の英語力を身に着けることによって、実用的な英語の力を習得する。また、プレゼンテーション等の機会を設けることにより、英語で自らが発信する経験を通じて、グローバル化するモノづくりの中でリーダーシップを発揮できる人材を育成する。		成績評価の方法： 50% 中間試験; 50% 期末試験 達成度評価の基準： 下記を評価の切り口として、工業英検 3 級レベルの試験を実施することにより、60%の正答を合格とする。 ① Vocabulary ② Grammar ③ Listening ④ Reading ⑤ Speaking ⑥ Writing ⑦ Presentation			
授業の進め方とアドバイス： 授業は“やさしい機械英語”をテキストとして使用し、産業界で実際に使用される語彙、表現を学習するとともに、今後ますます要求される英語によるプレゼンテーション力を育成するために、テキストとは別に Toastmaster International で使用されている教育プログラムを参考にしてコミュニケーション力を伸ばす。また技術に関連する時事英語も適宜取り入れ授業をすすめる。					
教科書および参考書： やさしい機械英語 (オーム社出版局)					
授業の概要と予定：前期					
第 1 回：Introduction 及び、機械工学の基礎 (エネルギー、自由落下の速度)					
第 2 回：機械工学の基礎 (摩擦、曲がったこの周りのモーメント、液体中の圧力)					
第 3 回：機械工学の基礎 (電気とは何か?、電気回路、石油製品)					
第 4 回：機械工学の基礎 (メートル単位系、測定と誤差、有効数字、グラフ)					
第 5 回：機械工学の周辺 (制作図、制作図の線、マイクロメータの取り扱い)					
第 6 回：機械工学の周辺 (ゲージ類、応力ひずみ線図、金属の性質)					
第 7 回：機械工学の周辺 (潤滑剤、複合材料、炭素繊維)					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：機械工作 (機械、旋盤、フライス盤)					
第 10 回：機械工作 (ボール盤、研削盤、溶接)					
第 11 回：機械工作 (鍛造、金属の鋳造、金属切削の機構)					
第 12 回：機械工作 (冷間圧延鋼材、熱処理、限界ゲージ、内燃機関)					
第 13 回：機械工学の現在 (CAD、メカトロニクス、センサ)					
第 14 回：機械工学の現在 (フィードバック制御システム、NC 工作機械、CAM、CIM)					
第 15 回：機械工学の現在 (非破壊検査、形状記憶合金、超伝導)					
期末試験					
第 16 回：Follow-up					

